

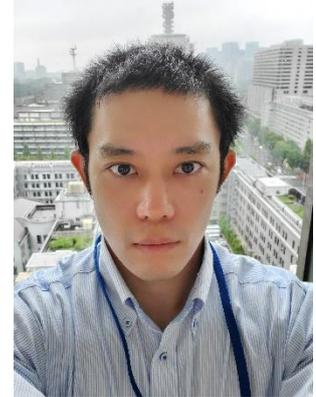
渡邊 倫権さん（平成20年卒）

文部科学省 職員

◇お仕事の内容を教えてください

現在は、高等教育局という、大学等の教育を担当している部署に所属しています。

経営実務や会計実務などの高度専門職業人の養成を行っている、専門職大学院制度に関する調査、相談対応、制度改善が主な業務です。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

自分が関わった業務が形になることで、それが国民の生活の改善に繋がることが実感できるとうれしいです。

今の部署で言えば、例えば、専門職大学院の設置に関する相談を受けていた大学が、必要な手続きを経て設置され学生を募集するに至るなど、学生が学ぶ環境が整備され、選択肢が広がることに喜びを感じます。

◇将来の夢を教えてください

大学まで体操競技を続けており、競技以外にも地域のスポーツ教室や大会の運営などに参画した経験もあり、スポーツ行政に携わりたいと思い文部科学省に入省しました。そのため、将来的には、スポーツを通して国民が健康な生活を送れるような政策形成や競技スポーツにおける環境の改善などに携わりたいと考えています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

器械体操部に所属し、インターハイ出場に向けて、当時の先生方の指導のもと、練習に明け暮れていました。また、学習の面では、部活以外の時間帯で計画的に進めることを心がけ、部活との両立に取り組んでいました。

学校の隣にある寮で生活していたため、毎日が合宿のような3年間でしたが、他の部活の生徒もいる寮生の交流もあり、途中で投げ出すことなくやりとげられたと思います。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

学校の勉強、部活動、同級生との交流など、今しかできないことがたくさんあると思います。高校時代に何かに打ち込んだ経験は、将来の自分の選択の幅を広げることでもできる大きな財産になると思っています。

今しかできないことを大切に、高校生活を楽しんでほしいと思います。

☆取材後記

午前様帰宅の多い多忙な省庁勤務。 断られることを覚悟して取材要請したところ、気持ち良く引き受けて下さいました。 部活動等で培った気力・体力だからこそ、なのでしょう。

渡邊さん、健康に留意され益々のご活躍を！（担当：Y）